

縞枯山山行報告

【山行日】 2014年 9月 13(土) 曇り時々晴れ

【集 合】 岩舟支所P AM 6:00

【費 用】 マイカー1台 : 2,600円

【メンバー】 CL:鈴木、石田、岩淵、大西、島田、
田村、福田、藤原

【コースタイム】岩舟支所 P6:00＝麦草峠 P8:40/9:00～茶臼山 10:40～展望台 11:10～縞枯山 11:30/12:00～坪庭 13:00/13:20～出合いの辻 15:00～麦草峠 16:10＝岩舟支所 P19:00



苔むした原生林を歩きたいと、北八ヶ岳のもっとも手軽にその雰囲気を楽しめる縞枯山に出かけた。今回は入会希望のFさんの体験山行を兼ねての山行となった。

麦草峠駐車場に着くとすでに満車状態だった。入口の路肩部に1台分のスペースがあったので、かろうじて止めることが出来た。駐車場から遊歩道を麦草ヒュッテに向かって進み、ヒュッテの入口を



左に進んで道路を横断する。すぐに雨池方面への道を分けて直進し、岩が多い登山道をゆるやかに登ると大石峠に着く。峠から右手の茶臼山方面に進むと、苔むしたシラビソの原生林を登る道となり、傾斜もきつくなる。所々に昨夜降った霰が10cm位積もっていた。Fさんに登山道の歩き方や、ストックの使い方などを教えながらゆっくり登る。20分くらいで中小場に着き、ここからはこれから登る茶臼山が良く見える。

中小場から少し下り、平坦な道を進むと茶臼山への急登となる。ゆっくりとにかくゆっくりと登り茶臼山山頂に着いた。山頂の先に展望台があるので行こうと言うと、皆さんここで良いと言うのでカット。水分とエネルギーを補給し、記念写真を撮って縞枯山に向かう。

茶臼山から下って、登り返すと次の展望台があるので、今度は寄って行こうと展望台に向かった。ところが、こちらの展望台は大きな石が重なり合った道を登るので皆さん苦労した。やっとたどり着き、大きな岩の上でコーヒブレイク。絶景を見ながら戴く、コーヒとバームクーヘンはとても美味しかった。昼食は坪庭まで行って食べる予定だったが、岩の登山道で歩きにくく時間が掛かっているの、縞枯山手前の広場で撮ることにした。けんちんうどんはとても美味しく、初めてのFさんは「エー山の上でこんな美味しいうどんを食べられるのですか？」と驚いていた。

広場からすぐに縞枯山山頂に着いたが、山頂は細く狭いので、手前の広場で昼食を食べ正解だった。山頂は西側が開け、蓼科高原や茅野市の街並みが良く見える。山頂から雨池峠への下りは急で、とにかく慎重に下る。雨池峠は明るく開け、十字路になっているので登山者が沢山休んでいた。



ここから少し下ると、縞枯山荘が建つ八丁平で、道も平坦な草原を歩くようになる。さらに進むと溶岩台地の下を歩くようになり、途中でRW駅に直接向かう道を分けて、右に登ると坪庭に出る。



坪庭は、北横岳の噴火による溶岩流が作り出した自然の庭園。溶岩とハイマツやコメツガ等の植物が織りなす造形美を楽しみながら歩ける絶景の遊歩道。

RW駅でトイレを済ませ、下山する。

下山は、縞枯山と茶臼山の西側を巻くように付けられた遊歩道に行く。途中の展望台までは、岩の上に木道が敷かれ歩き易かったが、その先は大きな岩を歩くので時間が掛かってしまった。出逢いの辻まで行き、3時を過ぎ

ているので皆さんはまっすぐ進んで国道に出て待つようにした。我輩はオトギリ平から大石峠へ行き、麦草峠の駐車場に駆け下り車で皆さんを迎えに行く。駐車場に戻り、トイレを済ませて帰路につく。Fさんも、途中疲れたら坪庭からRWで降りる予定だったが、元気に全行程を歩き通し、10月の三つ峠山も参加することになった。

